

## 清水護教授を送る

高 村 新 一

清水護さんは英語英文学関係ではいへん有名な方なので、私のような者が今更紹介記事を書くなどの必要はなさそうだし、むしろおこがましくも思われるが、私の目に映った清水さんのお姿について二三書いてみようと思う。

清水さんがICUから東京女子大学に変わられたのは昭和49年の春で、ちょうどその時、私も女子大に迎えられることになった。私はそれまで東京女子大学とは何らの関係もなく、同僚となる筈の方々とも一切面識がなかったので、果してうまくやって行けるだろうかと、不安な思いを抑えることができなかった。だから、この時、清水さんが同時にお入りになったことは、実にありがたいことだった。清水さんとはそれまでに何度かお会いしお話したことがあり、東大英文科の先輩でもあったのだ。私は半年の猶余期間の後、英文科の主任をおうせつかり、昨年春、妻が重病で入院中の頃にまで及んだが、その間、清水さんは、いわゆる先輩風を吹かせることもなく、陰に陽に私を立てて、やりやすくして下さい。まごつくばかりの私にとってこれはほんとにあがたいことだった。清水さんの私に対するこの moral support を私は忘れることがないだろう。

上述のように、私の妻が昨年の春は癌の末期で、いつ死ぬかも判らないという苦しい時があった。入学試験の時、同僚の方々が私の負担を最小にしてくださったので、ずいぶん助かったが、清水さんは、妻のことで毎日のように言葉をかけて下さったのも忘られない。

清水さんは英文科の科会でも教授会でも、積極的に意見を述べられた。大体において、やや右寄りの発言は首尾一貫していて、時によると必ずしも同じがたい場合もあったが、旗幟鮮明でさわやかな感じを与えられた。なかなか思うことを言う積極性を持ち合わさない私にはうらやましいことに思われた。

熱心なクリスチャンでもある清水さんは、女子大の宗教部に関係され、さまざまな企画にも参画なさっていたと思う。野尻湖のキャンプに参加なさった時のことを人づてに伺ったが、平素は謹厳な清水さんも、スタンツの際の演技にはユーモアたっぷりの温い人間性を示されたという。だが私にとっては清水さんはふだんから温い方なのである。

以下に清水さんの御履歴と御業績を略記する。清水さんは明治41年10月30日のお生まれ、旧制台北高校から東大英文科に入り昭和6年に御卒業、昭和32年から33年にか

けてハーバート大学に留学，44年にはイギリスのマンチエスター大学で研究に従事な  
された。

東大英文科を出てすぐ，東京府立三中を経て旧制成蹊高校に長く勤められ，校長に  
もなされた。その後，学制改革により成蹊高校は成蹊大学となり，英語科主任教授と  
なされた。ついで昭和31年から国際基督教大学に移られ，教養学部長代理，語学長，  
大学院教育学研究科長，大学院部長代理，教養学部人文科学科長，基督教と文化研究  
所長等を歴任された。ことに東京女子大学には昭和24年から非常勤講師として関係し  
ておられたので，今年の春，停年でおやめになるまで実に30年の永きに亘って教えて  
おられたことになる。

清水さんは学校以外でも，広く学界および社会における活動を通して貢献しておら  
れる。日本英語検定協会の評議員，大学英語教育学会（J A C E T）の評議員兼監事  
をなさっているが，ことに英語教育協議会（E L E C）の理事・評議員としては，昭  
和37年以来，十数年に亘って，非常に骨の折れる仕事を熱心に推進なさって来た。他  
に，三鷹市教育委員会の教育委員として十年余り奉仕され，委員長をなさったことも  
ある。42年にはハーバード・エンチェン・インスティテュートのヴィジティングスコ  
ラーズアソシエーション日本支部代表の一人として，台北における第3回合同評議会  
に出席された。

清水さんの御著書，論文，翻訳書は数が多くて所定のスペースには書き切れないの  
で，失礼を顧みず，主立ったものにとどめておく。

（著書）

- ロングフェロー「エヴァンジェリン」注解（昭和18）
- 英文「福音書抄」注解（昭和24年）
- 英文引用句辞典（市河三喜・西川正身共編）（昭和28年）
- 英国民の伝統と聖書——英語と聖書（昭和32年）
- シェイクスピア「オセロー」注解（昭和46年）

（翻訳書）

- O. イエスペルセン原著「韻律論」（昭和9年，32年）
- J. M. グレインジャー原著「欽定英訳聖書の構文」（昭和34年）

（論文）

- Biblical Expressions in Modern English (1932)
- Biblical Expressions in Common Use (1933)
- Proper Names of the Old Testament (1936)
- Samson as Seen in Milton and the Book of Judges (1941)
- Taxation in the Bible (1951)

Some Aspects of Oscar Wilde's Style (1953)  
A Stylistic Approach to 'A House of Pomegranates' (1953)  
Biblical Literature and the Son of Man (1956)  
The Authorized Version (1960)  
On the English of *The New English Bible* (1961)  
The Bible in Arnold Toynbee (1962)  
On Some Stylistic Features, Chiefly Biblical, of *The Good Earth* (1964)  
Notes on Japanese Words in English Dictionaries (1967)  
Myths, Legends and Words (1967)

70歳を越えられた清水さんは、なおたいへん御元気で、新しいお仕事に従事なさっている。今後ますます御元気で活躍なさるに違いない。